

# 新宿 ビズタウン ニュース

Shinjuku BizTown News

No. 42  
平成31年3月20日号

目次

U35新宿ビジネスプランコンテスト……1-3  
生き生き企業FOCUS……4-5  
平成30年度新宿ものづくりマイスター「技の名匠」…6  
インフォメーション……7-8  
新宿区中小企業の景況……8

／ビジネスに育てよう！あなたのアイデア／

U35

## 新宿ビジネスプラン コンテスト



新宿区では、東京商工会議所新宿支部とともに、第一線で活躍する経営陣の協力を得て「新宿ビジネスプランコンテスト」を開催しました。

これは産業振興プランで掲げている「価値創造に向けた積極的な事業活動の推進」に基づく事業のひとつです。区内産業の活性化には、既存事業者への支援だけでなく新規事業者増加に向けた対策も必要です。また、区内には複数の大学があり、若い企業人・起業人も多いため、次世代を担う若者に、ぜひその柔軟な発想をビジネスに繋げてほしいと考えました。

開催初年度の今回は全34件の応募があり、区内の大学生や起業人による熱いビジネスプランが集まりました。

公開プレゼンテーション(最終)審査に残ったファイナリスト6名の声も伝えます。

●応募条件

- ・35歳以下で、区内在住・在勤・在学いずれかであること
- ・創業後3年以内の中小企業者で、代表者が35歳以下であること
- ※「主たる事務所」が区内に登録されている大学の場合、区外在学者も可能
- ※チームで申し込みをする場合は、チーム代表者が上記条件を満たしていること

●エントリー方法

ビジネスプラン名(20字以内)、事業概要(ビジネスモデル)、ビジネスにける夢や思いを所定のエントリーシートで応募。募集開始から締切までは約2か月半です。

●審査のポイント

「事業革新性」「市場性」「実現性」「戦略性」等を基準に審査

●表彰

公開プレゼンテーション審査(最終審査)と同日に表彰を行い、以下の賞が授与されます。

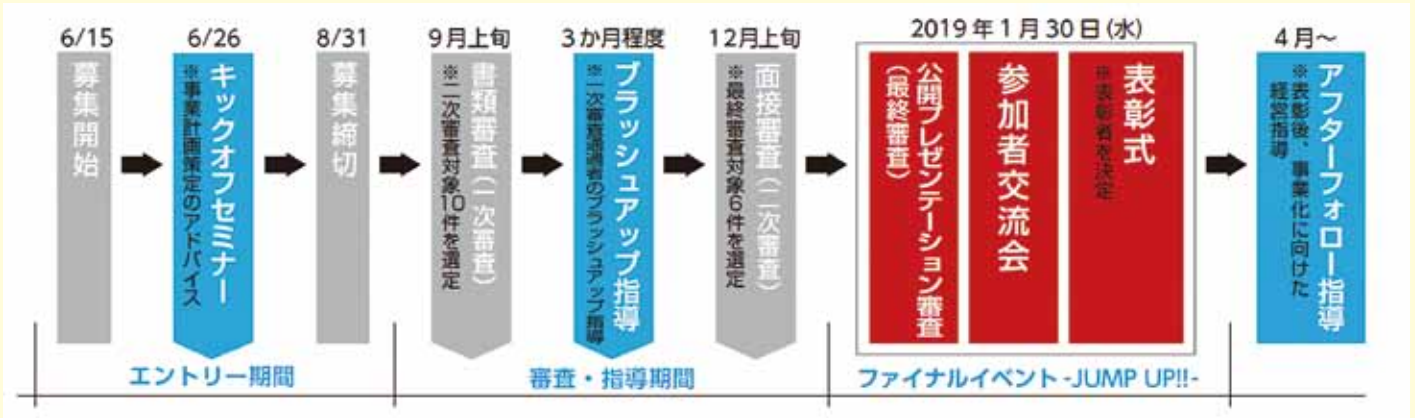
- ★最優秀賞:賞金50万円
- ★審査委員特別賞:賞金10万円
- ★優秀賞:賞金20万円
- ★JUMP UP!!賞(オーディエンス賞)

～審査を終えて～

初回ながら多様性に富む多数の応募があり、ファイナリストのブラッシュアップぶりも見事でした。新宿の顔になれるよう、さらに頑張ってください。来年も革新的なアイデアを期待しています。(審査委員長/加茂 純さん)



日付は平成30年度実施日です。



平成31年度「新宿ビジネスプランコンテスト」募集については新宿区のHP等で追ってお知らせします。

特徴いろいろ

うれしいサポートがたくさん！

特徴1 エントリー前にキックオフセミナーへ参加することができます！

「起業に失敗しないためには？」「正しい事業計画の策定方法」などをテーマとした有益な無料セミナーにご参加いただけます。対象はコンテストへのエントリーを検討している方、これから起業を考えている方等です。



「ユニコーン企業の作り方」をテーマに6月に開催されたキックオフセミナー。講師は(株)グロービス・キャピタル・パートナーズ最高執行責任者の今野 穰さん。

特徴2 起業支援のプロによるブラッシュアップ指導が受けられます！

現在の自分のプランについて、起業やビジネスへの考え方について面談やメールでの指導が受けられます。対象は「書類審査(一次審査)」を通過した方です。「面接審査(二次審査)」に向けた指導を受けることができます。

～指導にあたり～

応募者のマグマのようなバイタリティーに刺激を受けました。ビジネスプランの精度アップを中心にアドバイスしましたが、いずれもお客様目線でよく練られていたと思います。(指導員代表/朝岡 崇史さん)



特徴4 「高田馬場創業支援センター」の施設使用料が免除されます！

事業化に向けた拠点支援として、高田馬場駅徒歩数分にあるインキュベーション施設「高田馬場創業支援センター」の使用料(1万円/月)が最長2年間減免(無料)になります。対象は「面接審査(二次審査)」通過者です。

特徴5 起業支援のプロによるアフターフォロー指導が受けられます！

「最優秀賞」「優秀賞」「審査委員特別賞」の受賞者は、受賞後最長2年間で限度に実際の事業化に向けた経営へのアドバイスが受けられます。

特徴3 公開プレゼンテーションと同日に「交流会」を行います！

公開プレゼンテーションは大手企業やベンチャーキャピタルも招待します。プレゼンター(「面接審査(二次審査)」通過者)だけでなく、審査委員・ブラッシュアップ&アフターフォロー指導員・一般参加者も交えて、お互いのビジネス連携やきっかけづくりに役立ててもらおうことが目的です。



私のビジネスプラン	こんなご指導いただきました	コンテストに参加して
<p><b>村田 航一郎</b> 工学院大学 先進工学部 <b>電動アシスト型キックボードシェアリング</b></p> <p>ロボコン全国3位。昨日まで世界に無かったモノを作り続けることを理念に活動しています。シェアサイクルに代わるシェアライドとして駅やバス停から目的地への1kmをこのプロダクトで解決したいと考えました。位置や開錠はGPS、地磁気、アプリから行います。</p>  <p style="text-align: right;"><b>審査委員特別賞</b></p>	<p>事業に乗り出すまでの流れと課題の見つけ方についてご指導をいただき、お客様が使う前提で設計図を視覚的に表現することの大切さに気づきました。</p>	<p>ファイナリストの皆さんとの出会いが一番の思い出かもしれません。35歳以下という制限の中で私自身にはない考え方やアプローチに気付くことが出来たことは関係者の皆さんに感謝しかありません。このコンテストがこれからも続いていくことを楽しみにしています。</p>
<p><b>相川 美菜子</b> 株式会社 笑下村塾 <b>SDGs ババ抜きカードで世界を身近に！</b></p> <p>オリンピックを前にグローバルな視点を伝えたいという声を受け、笑って学べるSDGsババ抜きカードを開発&amp;販売。持続可能な活動にするために、出張講座、トランプ販売、資格講座から成る一連のビジネスモデルを確立し、将来は海外進出も果たしてSDGs大ムーブメントを起こすことが目標です。</p>  <p style="text-align: right;"><b>最優秀賞</b></p>	<p>ビジネスモデルを考えるうえでのわかりやすいワークシートをいただきました。ステークホルダーとの関係性構築をどうするか具体的なご指導もわかりやすかったです。</p>	<p>エントリー時には自分の考えを“ビジネスプラン”として言語化せねばなりませんでした。今まで以上に経営、社会貢献、面白さなどさまざまな視点から自分の事業を見つめ直すことができました。いただいた賞金を何百倍もの価値にして社会に還元できるように、これからも頑張りたいと思います。</p>
<p><b>松広 航</b> 合同会社 Yspace <b>VRを用いた宇宙体験教材</b></p> <p>宇宙やテクノロジーを体験できる機会は博物館や筑波のJAXAなどと限られているため、航空宇宙工学やロボット工学を専門としている私たちYspaceは、いままで遠いと感じていた宇宙を少しでも身近に感じていただくためにVRを用いた宇宙体験教材をより多くの方々に提供したいと思えます。</p> 	<p>人々へのアプローチ法や、有効なコンテンツ展開をディスカッションさせていただき、視野が狭くなっていたプランに幅を持たせることができました。チャネルはどうするのか、どこで収益を上げるのか、ICO(Initial coin offering)など事業としてどのように成り立たせるのかご指導いただきました。</p>	<p>最終プレゼンでは限られた時間内であるだけわかりやすく伝えることを意識するあまりYspaceが本来持つ面白さや魅力を十分に伝えきれなかったことが悔やまれますが、イメージをしにくい分野においてどのように表現し伝えるか、大きな学びとなり有意義でした。ファイナリスト同士でのつながりや、交流会で興味を持ってくださった方も多く、人とのつながりもこのコンテストの魅力だと感じました。</p>
<p><b>宮下 晃樹</b> Carstay 株式会社 <b>訪日旅行者向けの車旅アプリCarstay</b></p> <p>これまで約1200名の訪日外国人を日本全国でガイドしてきた経験から、顕在化している二次交通や宿泊施設の不足に課題を感じ、訪日観光客の、なかでも訪日ドライバー向けの車旅情報発信アプリを提供したいと考えました。目的地や現在地付近の車中泊・観光情報を提供し、インバウンド効果も狙いたいと思えます。</p>  <p style="text-align: right;"><b>優秀賞</b></p>	<p>事業計画プランニング、顧客獲得戦略、メディアへのPR方法を中心にご指導をいただきました。すべてのアドバイ스가大変勉強になりましたが、特にビジネスプランシートの内容を具体的にフィードバックいただけてとてもありがたかったです。</p>	<p>栄えある優秀賞を賜りまして、誠にありがとうございました。Carstayを最終プレゼンにてお披露目させて頂けたこと、大変光栄でした。これから、より多くのドライブ・キャンプがお好きな方に『Carstay』『カーステイ』でGoogle検索いただき、弊社サービスをご利用いただけるように頑張ります！そして今後、新宿区を、そして日本を代表するスタートアップになります。</p>
<p><b>李 昇周</b> 有限会社 大和パッキング工業所 <b>Mobile Charge System</b></p> <p>モバイル機器の充電コントロール技術を利用し、デジタルサイネージ&amp;情報提供サービスを行うシステムを提供します。お店やカフェ等にある充電サービスを利用したい来店者は、予めディスプレイ画面を見て確認しなければ充電が始まらないように設定し、お店側は流したい情報や広告を、来店者に的確に受け取ってもらえるようなシステムを開発しました。</p>  <p style="text-align: right;"><b>JUMP UP!!賞 (オーディエンス賞)</b></p>	<p>市場調査、ビジネスモデル、マーケティングまで、ビジネスプランを立てることに關して全般的なご指導をいただきました。貴重なアドバイスをいろいろいただけて大満足でした。</p>	<p>エントリーから約半年間、皆様に貴重なご指導をいただき感謝申し上げます。最終プレゼンでは徐々にものすごく緊張しましたが、練習した通りできてひと安心しました。そして、オーディエンス賞であるJUMP UP!!賞をいただき、誠にありがとうございます。多くの方々からCharSシステムのビジネスモデルと必要性に共感していただき幸いです。このチャンスを活かし、新宿区発の新ビジネスで、より活躍できるように頑張ります。</p>
<p><b>倉田 一生</b> 早稲田大学 商学部 <b>新宿区発創業・成長のハイブリッドエンジン</b></p> <p>ヒト・モノ・カネという経営資源がより効率的に運用されるために、それらを適切に分配・循環させる仕組みを作ります。あらゆるライフサイクルが短い時代に、社会を支えられるような存在を目指しています。</p> 	<p>プランを頭の中で作成していくうちに、都合の良い仮定やデータを採用しがちになっていたため、実際に社会で活躍している方へのヒアリングも行うべきというご指導は、プラン策定の要になりました。</p>	<p>学生である自分にとって世に通用するビジネスを生み出すという課題は苦しみも多く順調な道筋ではありませんでしたが、最終プレゼンでは緊張や後悔ではなくワクワクに満ちている自分がいました。結果はふるいませませんが感想を述べに来てくださった方々がいたことを心の底から嬉しく思いました。次回は、すごいアイデアを生み出したと感じていただけるように邁進してまいります。</p>

上記はプレゼンテーション順です。

# 株式会社 赤ちゃん和妈妈社

所在地: 新宿区四谷本塩町14-1第2田中ビル / 電話: 03 (5367) 6590



## 育児の視点を通して「生きる力」を育てる



代表取締役社長 小山 朝史さん

**半世紀以上にわたり  
日本初の育児雑誌を発刊**

1965年創業の株式会社赤ちゃん和妈妈社が刊行する日本初の育児雑誌・月刊『赤ちゃん和妈妈』は、半世紀以上にわたって子育て中のお母さんたちに親しまれています。小山朝史社長によると、創刊当時の経緯は次のようなものだったそうです。

「創業者がアメリカの雑誌を参考に創刊したため、記事は横書きで左開き。かなり斬新な雑誌だったと思います。当初は産院を通じて購読していたのだいたそうですが、出産が家族の健康意識が高まるタイミングでもあり、「安心できる楽しい育児」をかかげ、健保、共済、企業労組などを經由する形

に変わりました」

**子ども中心のワーク・ライフ・バランスやダイバーシティに  
取り組む**

妊娠、出産、育児から子育て世代の働き方まで、幅広い情報発信を行ってきた赤ちゃん和妈妈社では次世代育成支援対策推進法が施行されたのを機に、自社でも女性が働きやすい環境づくりに取り組み始めました。

「子育ての環境をよくするための情報発信においては、当社で働く人が幸せで前向きでなければなりません。実際に働きやすい環境とはどんなものかと考えたのです」

そこで出産祝い金、時短勤務、看護休暇制度のほか、妻の出産予定日の前後に有給を取得できる「パパ休暇制度」などを創設。新宿区や東京都からワーク・ライフ・バランスに優れた企業として認定されました。また、ダイバーシティ（多様性）の促進にも力を入れ、経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」でも促進事業表彰を受けています。

**少子高齢化社会の中で  
第2創業プロジェクトを推進**

半世紀の間に子育て・育児雑誌は競合が増えた一方、少子高齢化が進み、育児関連市場は確実に縮小しています。



創刊号の表紙と記事

が、東京中小企業家同友会の集まりで紹介された「ビジネスアシスト新宿」でした。2018年、社内に「第2創業プロジェクト」を立ち上げ、新規事業の方向性を探るため、専門家のアドバイスを求めたのです。

このプロジェクトは昨年5月から月1回のペースで開催され、メンバーからは多くの事業案が出されたそうです。現在は成長性、継続性、収益性などを検討し、さらにブラッシュアップするものと、既存事業の中で実現できるものとを分け、新規事業としての具体化をめざしています。

「情報が氾濫するなかで、読者は答を欲しがっている傾向が強まっています。そうした中で当社は働く母親が増えていく現状を踏まえ、夫婦のパートナーシップや親子の距離感といった新しい視点を入れながら、いのちを守る、心を育てることの大切さを、子育てを通して学んでほしいというメッセージを発信し続けていきたいと思えます」

「直近の出生数は平成28年から100万人を割り込み、ベビーブームの半数以下。活字離れによる出版不況、A1時代に入り世の中の移り変わりが速いなか、育児への不安にもしっかりと目を向けて、事業を根本から見直したい、そのための『火種』が必要だと考えるようになりました」

そんな小山社長が活用したの



## 世界初、唯一無二のシステムで微生物除染に挑む

**有効性が高く使いやすい  
除染システムを提供**

最先端の医薬品の開発製造や再生医療、医療現場などでは、微生物の除染作業が不可欠ですが、除染の有効性と安全性とが相反するケースがしばしばあります。

榊昭雄代表取締役はそうした課題を克服するため、2016年10月にSDバイオシステム株式会社を設立。世界で初めて過酢酸サイクル除染装置を開発し、安全で確実な微生物の除染を可能にしました。

「強い除染効果のある過酢酸は、金属を腐食させやすい、効果を維持できない、臭気があるなど、使用上の問題がありました。サイクル除染とは、除染効果のなくなったガスを回収し、新たな過酢酸を噴霧するサイクルを繰り返すシステムです」

クリーンルームなどを除染する「SD cube」が、まさにそれです。より小型で



代表取締役 榊 昭雄さん

装置内部を除染する「SD mini」とともに、すでに販売が始まっています。

**新宿区の支援を効率的に活用して  
目の前の課題をクリア**

クリーンルームの企画・設計や除染装置など関連製品の開発・営業を行っていた榊社長は、既存の除染システムの問題点や過酢酸の除染効果を熟知していました。

「過酢酸の可能性を感じて起業し、試作品でも想像以上の効果を得ましたが、入念な独立準備をしていたわけではなく、戸惑うことばかり。そんなときに『ビジネスアシスト新宿』と『新製品・新サービス開発支援補助金』という新宿区の制度を知りました」

「ビジネスアシスト新宿」では財務や特許戦略について専門家からアドバイスを受け、「新製品・新サービス開発支援補助金」は、特許につながる製品開発やデータの完全性を証明するシステムの開発に役立ちました。

「システムの除染能力が重要なのもちろんですが、現在ではさらに無菌化を示すデータの完全性を証明することが求められます。当社の製品では、利用者は生データに直接触れ



SD cubeは室内空間の微生物除染に効果的

られない仕組みになっているので、捏造、改ざん、取り返し、取り違えなどによるデータの毀損を回避し、信頼性の高いデータを提供できます。この点も他に例がないセールスポイントです」

**将来的にはライセンス契約や  
海外展開も視野に**

榊社長は今年をプロモーションの年と位置づけ、積極的にピーアールしていく覚悟です。これまで展示会では他社のブースに間借りしていましたが、今年からは自社ブースを設営、来場者の反応は上々で、受注や商談につながっています。

「今期で黒字転換、来期は累積で黒字転換」が目標だと語る榊社長。今後は装置として販売するだけでなく、関



SD miniは実験機器の庫内を除染



自社ブースでの展示会出展

「新宿区の制度は、当社の開発ステージにマッチしました。たとえば助成金申請を機にビジネスプランを見直せば、たとえ採用されなくてもブラッシュアップの効果はあるはず。ぜひトライすることをお勧めしたいと思います」

「ビジネスアシスト新宿」「新製品・新サービス開発支援助成」についてはp7をご覧ください。

平成30年度

# 新宿ものづくりマイスター

# 「技の名匠」



新宿区は、区内でものづくり産業の同一業種に10年以上従事し、優れた技術・技能を有し、後進の指導を行い他の模範となる方を「技の名匠」として認定しています。平成30年度は3名の方を認定しました。

手描染

ひらばやし はやと  
**平林 隼人**さん

事業所／新宿区弁天町4 染芸工房 隼人  
電話／03(3202)0653



糸目友禅・ろうけつ(染)・金彩を組み合わせた作品



昭和27年生まれ。工業化学を学んだ後、調香に関わる仕事を経て19歳より染色の世界に入る。袖山栄太郎に師事し34歳で独立。糸目友禅、ろうけつ(染)、金彩蒔絵加工など複数の技法を習得し、着物だけでなく襖や屏風、歌舞伎衣装の制作や修復も手掛けている。

複数の技法を組み合わせた作品づくりを得意とし、なかでもろうけつ(染)と金彩に卓越した技能を持つ。ろうけつ(染)では染料にこだわり絹地の風合いや生地目を活かす工夫を重ね、金彩では自ら切り出した型紙を使うなど、作品には伝統美と独創性の融合が見られる。

新宿区染色協会では若手職人への技術指導を行い工房開放のイベントに参加するなど染色業界の活性化に尽力している。

和生菓子製造

あいだ しげる  
**相田 茂**さん

事業所／新宿区神楽坂5-34 (有)五十鈴  
電話／03(3269)0081



外国の方にも人気の「神楽坂饅頭」



昭和26年生まれ。世田谷区の和菓子店にて修行のち、24歳で実家の「五十鈴」を継承。2代目として現在に至る。

和菓子は餡を基本にすべて手づくりしている。2種の餡を自家製パイ生地で作るんで焼いた「神楽坂饅頭」や、ふんわりとした皮が特徴の「神楽坂どら焼き」をオリジナル商品として開発した。それらは伝統的餅菓子の豆大福・団子や、先代からの「甘露甘納豆」、全国菓子大博覧会で受賞歴のある「くりやま」とともに店の看板商品となっている。

地元の神楽坂通り商店会では、役員や毎年夏の「神楽坂まつり」の実行委員長を務め、また神楽坂五丁目自治会の町会長としても地域に貢献している。東京和生菓子商工業協同組合牛込支部所属。

畳製造

つねかわ なおき  
**常川 直喜**さん

事業所／新宿区四谷4-18-2 高岡屋常川畳店  
電話／03(3351)8611



手伝統的な「手縫い」も行っている



昭和33年生まれ。新宿区四谷で約150年営む「高岡屋常川畳店」の5代目として40年間従事している。

稲わらを縫い留めた従来の畳床へは手縫いで、断熱性・軽量化重視のポリスチレンフォームや建材を用いた硬い畳床には機械縫いと使い分けるが、いずれも畳の角や藁床のすき間へこみの微調整は手作業で行う。寺社仏閣の畳へ「紋縁(もんべり)」を施す伝統的な技術も6代目となる子息へ伝授されつつあり、技術と仕上がりの美しさに定評がある。

四谷四丁目商交会会長、四谷四丁目町会副会長を務め、また四谷須賀神社では総代を務めるなど、地域の発展や安全に貢献するとともに、東京都畳工業協同組合理事として組合の発展にも努めている。



## 平成31年度 新宿ものづくりマイスター「技の名匠」認定候補者募集

【対象】区内の事業所で製造業(食品・調理含む)や修理業に10年以上従事し、優れた技能を有し、後進の指導を行い他の模範となる方

【申込みから認定まで】申込みには推薦者が必要です。必要書類提出後、専門機関の職員が実地調査を行います。書類および調査結果を踏まえ審査会を行い、認定の可否が決定します。

【募集期間】4月15日(月)～6月14日(金) 詳細はお問合せください。

【問合せ先】文化観光産業部 産業振興課 電話(3344)0701



情報を知りたい

支援がほしい

制度を利用したい

## 産業振興課にお問合せください

新宿区産業振興課では、区内産業の振興と活性化を目指し、多岐にわたる支援事業を運営しています。下記はその一部です。区内企業の方々はもちろん、これから区内で創業をしようとお考えの方も対象です。経営に関する相談窓口としてぜひご利用ください。

**【問合せ先】文化観光産業部 産業振興課 電話03(3344)0701**

社会保険労務士の派遣も可能です！

## ビジネスアシスト新宿

さまざまな経営課題をお持ちの事業所や商店等へ、経営の専門家を無料であなたの事業所へ派遣します。従来の中小企業診断士派遣に加えて、社会保険労務士の派遣も行っています。

費用無料

### 【対象者】

新宿区内の中小企業者(全業種が対象)

### 【相談事例】

- 売上を伸ばすために、効果的な商品レイアウト方法を教えてほしい
- 海外展開や販路拡大がうまくいかない
- 新規顧客を増やすため、直接店舗をみながらアドバイスしてほしい
- 就業規則の作成・変更はどのようにすればいいの？
- 労働・社会保険の手続きがわからない

### 【申込方法】

所定の利用申請書に必要事項を記入のうえ、文化観光産業部産業振興課(西新宿6-8-2 BIZ新宿4階)までお持ちください。

※利用申請書は産業振興課の窓口または新宿区のホームページから入手できます。

※専門家の情報は新宿区ホームページにて確認できます。

※実務を伴う申請に必要な書類の作成や内部調整等の費用は、別途ご負担いただくことがあります。

新たなチャレンジを  
応援します！

## 新製品・新サービス開発支援補助金

本補助金は、区内中小企業者が行う革新的な新製品・新サービス開発に対し、経費の一部を区が補助することにより、新事業創出に向けたり取り組みを支援します。

**【対象者】**新宿区内の中小企業者(全業種が対象)

**【補助金額】**上限100万円/1件 (補助対象経費の2/3以内)

**【補助対象】**革新的な製品・サービスを開発する事業に伴う

- ・原材料の購入に要する経費
- ・機械装置・工具・器具の購入または借用に要する経費
- ・外注加工に要する経費
- ・知的財産権取得のための経費
- ・大学等との共同開発費

**【申込期間】**

平成31年4月15日(月)～平成31年5月31日(金)

**【申込方法】**

交付申請書に必要な書類を添えて文化観光産業部産業振興課(西新宿6-8-2 BIZ新宿4階)までお持ちください。

※「応募要項」と「交付申請書」は、申込開始日から区ホームページよりダウンロードできるほか文化観光産業部産業振興課でも入手できます。

4月1日(月)から  
申請受付！

## 中小企業展示会等出展支援補助金

販路拡大のため、区内の中小企業が参加する展示会・見本市等に出席する費用の一部を区が補助します。

前期募集

**【対象者】**新宿区内の中小企業者(全業種が対象)

**【対象経費】**出展小間料及び小間装飾費

**【補助金額】**国内:1件15万円まで(補助対象経費の2/3以内)

海外:1件20万円まで(補助対象経費の2/3以内)

**【申込期間】**平成31年4月1日(月)～平成31年9月30日(月)

ただし、前期予算額に達し次第受付を終了しますので、事前にお問合せのうえ、お申込みください。

**【申込方法】**

交付申請書に必要な書類を添えて文化観光産業部産業振興課(西新宿6-8-2 BIZ新宿4階)までお持ちください。

※「応募要項」と「交付申請書」は、3月25日(月)から区ホームページよりダウンロードできるほか文化観光産業部産業振興課でも入手できます。

ご登録はお済みですか？

# 「新宿bizタウンメール」をご活用ください

新宿区では、事業活動に役立つ区の産業振興施策や各種産業支援情報をメールで配信しています。登録は無料です。通信料は別途かかります。事業活動にご活用ください。

【配信内容】新宿区、東京都中小企業振興公社、産業団体等からの産業支援情報

【登録方法】配信をご希望の方は、新宿区ホームページから、登録ページのリンクをクリックして手続きを行ってください。

新宿bizタウンメール



[http://www.city.shinjuku.lg.jp/jigyosangyo01\\_002144.html](http://www.city.shinjuku.lg.jp/jigyosangyo01_002144.html)



平成30年  
10月～12月期

## 新宿区中小企業の景況

新宿区では区内中小企業に対する「景況調査」を年4回実施しています

1. 調査時期
2. 調査方法
3. 調査対象業種

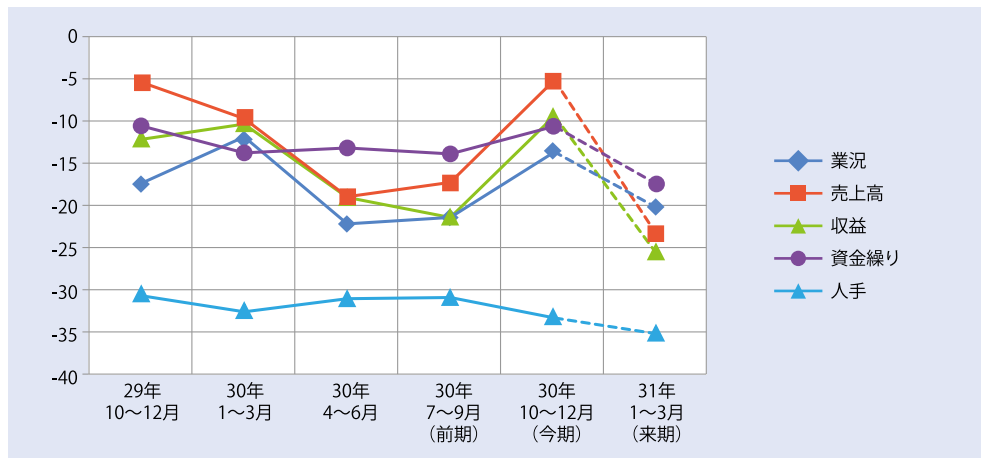
平成30年12月中旬  
郵送アンケート調査  
製造業(34件)、印刷・関連連業(33件)、染色業(16件)、建設業(40件)、情報通信業(36件)、卸売業(38件)、小売業(65件)、飲食・宿泊業(74件)、不動産業(44件)、サービス業(73件)  
※カッコ内は有効回答数

4. 調査機関

(株)東京商工リサーチ

※点線は来期の予想

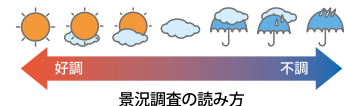
### ●項目別DIの推移(全体)



業況:経済全体の景気状態ではなく、個々の企業ないし産業の景気状況。  
DI(ディーアイ):Diffusion Index(ディフュージョン インデックス)の略で、増加と答えた企業の割合から、減少と答えた企業の割合を差引いた数値のこと。DI値がマイナスの場合、業況・売上額・収益・資金繰りは不調傾向を、人手は不足傾向を示す。

- 10月～12月期の特徴 業況DI(「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-13.9と、前期(平成30年7月～9月)の-21.3から持ち直した。来期(平成31年1月～3月)の予想は-20.1で低迷する見込み。

- 業種別調査結果(10月～12月期) 景況調査の詳細は、新宿区ホームページをご覧ください。



業種	景況
製造業	晴
印刷・関連連業	曇
染色業	曇
建設業	曇
情報通信業	晴
卸売業	曇
小売業	曇
飲食・宿泊業	晴
不動産業	晴
サービス業	曇